

令和2年度 完了課題について

課題名	期間	目的	内容	成果の要約
<p>スイートコーンの生産拡大に向けた新作型の開発</p>	<p>H29～R2</p>	<p>山梨県のスイートコーン生産は、ハウス、二重トンネル、一重トンネル、露地と連続的に行われているが、秋期の出荷は行われていない。</p> <p>そこで、本県スイートコーンの生産量を拡大するために、秋期に出荷できる抑制作型について平坦地、高冷地でそれぞれ検討し、作期拡大技術を確立する。</p> <p>また、抑制作型は生育期が台風発生期と重なるため、強風による倒伏軽減を図るための管理技術として雄穂切除の効果について明らかにする。</p>	<p>1. 抑制裁培による新作型の開発 (平坦地、高冷地)</p> <p>(1) 秋期出荷のための抑制裁培技術 ・ 播種時期と収穫期、適品種、施肥量</p> <p>(2) 同一マルチによる複数作型技術 ・ 緩効性肥料の種類、施肥量</p> <p>2. 労力軽減化技術の確立</p> <p>(1) 播種管理技術 ・ 出芽率向上対策、間引き作業軽減化</p> <p>(2) 無除草栽培技術の検討</p> <p>3. 安定生産技術の確立</p> <p>(1) 倒伏軽減対策技術 ・ 雄穂切除の効果、切除の時期・位置</p> <p>(2) 高温、乾燥対策技術</p>	<p>県産主力品目、スイートコーンの作期拡大を目標とした栽培技術について取り組み、秋出し可能な露地抑制裁培の新作型技術を確立できたため課題を完了とする。</p> <p>次の成果情報として取りまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平坦地におけるスイートコーンの抑制裁培」 (R1 成果情報) ・ 「平坦地のスイートコーンの抑制裁培における施肥基準量」 (R1 成果情報) ・ 「富士北麓地域におけるスイートコーンの抑制作型の確立」 (R1 成果情報) ・ 「富士北麓地域における夏どりブロッコリーと抑制スイートコーンの2毛作」 (R2 成果情報) ・ 「スイートコーン栽培における雄穂切除による倒伏軽減技術」 (R2 成果情報)